

(第2号様式)

那覇西第2426号
令和6年3月15日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇西高等学校
校長 仲吉 健一
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月18日(火) 16:00	場所	進路学習室	出席 状況	4名中2名出席
第2回	日時	12月21日(木) 15:00	場所	進路学習室	出席 状況	4名出席
第3回	日時	3月16日(木) 16:00	場所	進路学習室	出席 状況	4名出席

2 学校評議員に求めた事項

本校経営方針に基づき、教務部、進路指導部、生徒指導部、国際人文科、体育科、1学年、2学年、3学年、その他学校全体についての現状報告及び成果と課題について各学期別に報告する。そして、これらを基に、各評議員より様々な視点から改善策や意見・助言等を求めた。その他、学校評議員による授業視察を実施し、学校の現状を理解していただくとともに、意見や助言等に活かせるよう工夫した。

3 学校評議員の意見

- ①多忙な職務であり、教職員もご自身をねぎらう時間を確保して欲しい。
- ②教師側が学習習慣の定着が十分ではないと判断しても、生徒・保護者がそう思っていないのであれば、いくら学習の必要性を指摘しても、響かないと思う。これではいけないと感じ、目標を持てる授業・楽しいと思う授業の実現を通して自発性を育て、改善していくことも必要である。
- ③学校行事(体育祭)を参観したが、家族観戦も多く、生徒も行事を楽しそうに参加していて嬉しく感じた。
- ④スマートフォンの利用ルールや学校行事の運営等について、生徒に企画させ等の経験を積ませ、教師が抱え込まずに生徒に責任を持たせ、校訓にある「じりつ」(自律・自立)を育てる工夫も必要だと思う。

4 学校運営に反映した事項

- ①昨年に引き続き、進路指導部とHR担任が連携し、進路の早期決定と学力不振を理由とした安易な進路変更をせず、日々の学習量の確保の必要性等を学年集会や進路講話で説明した。
- ②一部学校行事については、生徒の主体性を大切に行事が開催できるよう全職員で協力し、実施した。
- ③生徒指導面で事案や生徒の現状に応じて、教育相談係を加えたり、スクールカウンセラーに協力を求めるなど、生徒に応じた適切な対応に努めることが出来た。

5 課題その他

- ①Wi-Fi等通信環境が改善されつつあるが、授業や行事等において学習端末の利用率向上の余地は大きい。今後より積極的に活用していくことを授業改善の中で検討する必要がある。
- ②コロナ以降、体調不良による欠席がコロナ禍以前に比べて多い。休むことへの心理的ハードルが低くなっており、安易な欠席が無いか注視する必要がある。